

奥羽大学歯学部附属病院 臨床研修プログラム

1. 単独型研修プログラム（Aプログラム）

臨床研修責任者等

研修プログラム責任者 金 秀樹
副研修プログラム責任者 山森徹雄、山田嘉重

研修プログラムの特色

大学病院の特性を十分に活用して、一口腔単位の総合治療を実践する。臨床教育セミナーや研修歯科医による症例報告を通じて歯科疾患に対する知識と診断ならびに治療能力の涵養に努める。さらに、研修協力施設にて地域保健・医療に関する研修を行う。

また、障がい児・者、高齢者及び要介護者の歯科治療を体験する。

研修歯科医募集人数

40名

臨床研修の目標

全プログラム共通事項参照

募集及び採用の方法

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の処遇に関する事項

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の指導体制

全プログラム共通事項参照

研修管理委員会の名称

全プログラム共通事項参照

研修施設の概要

単独型臨床研修施設

施設名	奥羽大学歯学部附属病院
所在地	福島県郡山市富田町字三角堂 31-1
臨床研修施設長	杉田俊博
研修管理委員会委員長	山森徹雄
事務部門の責任者	中葉利男

研修協力施設参照

研修の到達目標

参照

研修期間割り

4月～3月	本院
備考	福島県立矢吹病院、福島県太陽の国病院、富士病院、磐梯町医療センター、生愛会中央医療クリニック、生愛会ナーシングケアセンター及びその他の研修協力施設において、輪番制で研修（通年で1か月以内）を予定

単独型研修プログラム

研修施設	本院											
基本習熟コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 医療面接 (①～⑨は行動目標)												
①	○	○	○	○								
②	○	○	○	○								
③	○	○	○	○								
④	○	○	○	○								
⑤	○	○	○	○								
⑥	○	○	○	○								
⑦	○	○	○	○								
⑧	○	○	○	○								
⑨	○	○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(2) 総合診療計画 (①～⑦は行動目標)												
①	○	○	○	○								
②	○	○	○	○								
③	○	○	○	○								
④	○	○	○	○								
⑤	○	○	○	○								
⑥	○	○	○	○								
⑦	○	○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(3) 予防・治療基本技術 (①～④は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
④		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(4) 応急処置 (①～③は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(5) 高頻度治療 (①～⑤は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
④		○	○	○								
⑤		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(6) 医療管理・地域医療 (①～③は行動目標)												
①	○	○	○	○								
②	○	○	○	○								
③			○	○	○	○	○	○	○			
繰り返し習熟 形成的評価												

単独型研修プログラム

研修施設	本院											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本習得コース												
(1) 救急処置 (①～⑥は行動目標)												
①			○	○	○	○	○	○				
②			○	○	○	○	○	○				
③			○	○	○	○	○	○				
④			○	○	○	○	○	○				
⑤			○	○	○	○	○	○				
⑥			○	○	○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												
(2) 医療安全・感染予防 (①～⑧は行動目標)												
①		○	○	○	○	○	○	○				
②		○	○	○	○	○	○	○				
③		○	○	○	○	○	○	○				
④		○	○	○	○	○	○	○				
⑤		○	○	○	○	○	○	○				
⑥		○	○	○	○	○	○	○				
⑦					○	○	○	○				
⑧					○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												
(3) 経過評価管理 (①～③は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												
(4) 予防・治療技術 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												
(5) 医療管理 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												
(6) 地域医療 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
繰り返し習得 形成的評価												

2. 地域医療短期研修プログラム（Bプログラム）

臨床研修責任者等

研修プログラム責任者 佐々木重夫
副研修プログラム責任者 原田卓哉、鈴木史彦、佐藤穂子

研修プログラムの特色

協力型臨床研修施設において、高頻度疾患を多く経験し、地域医療を実践する。
大学病院では、特殊症例や高度医療への対応能力を養い、臨床教育セミナー、症例報告、研修協力施設での地域医療を通して幅広い研修を行う。

研修歯科医募集人数

55名

臨床研修の目標

全プログラム共通事項参照

募集及び採用の方法

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の処遇に関する事項

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の指導体制

全プログラム共通事項参照

研修管理委員会の名称

全プログラム共通事項参照

研修施設の概要

管理型臨床研修施設

施設名 奥羽大学歯学部附属病院
所在地 福島県郡山市富田町字三角堂 31-1
臨床研修施設長 杉田俊博
研修管理委員会委員長 山森徹雄
事務部門の責任者 中葉利男

協力型臨床研修施設参照

研修の到達目標

参照

研修期間割り

	1班	2班
4月～6月	本院	本院
7月～10月	協力型臨床研修施設	本院
11月～2月	本院	協力型臨床研修施設
3月	本院	本院
備考	福島県立矢吹病院、福島県太陽の国病院、富士病院、磐梯町医療センター、生愛会中央医療クリニック、生愛会ナーシングケアセンター及びその他の研修協力施設において、輪番制で研修（通年で1か月以内）を予定	

地域医療短期研修プログラム

前半	本院		協力型臨床研修施設				本院					
後半	本院							協力型臨床研修施設		本院		
基本習熟コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 医療面接 (①～⑨は行動目標)												
①	○	○	○	○								
②	○	○	○	○								
③	○	○	○	○								
④	○	○	○	○								
⑤	○	○	○	○								
⑥	○	○	○	○								
⑦	○	○	○	○								
⑧	○	○	○	○								
⑨	○	○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(2) 総合診療計画 (①～⑦は行動目標)												
①	○	○	○	○								
②	○	○	○	○								
③	○	○	○	○								
④	○	○	○	○								
⑤	○	○	○	○								
⑥	○	○	○	○								
⑦	○	○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(3) 予防・治療基本技術 (①～④は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
④		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(4) 応急処置 (①～③は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(5) 高頻度治療 (①～⑤は行動目標)												
①		○	○	○								
②		○	○	○								
③		○	○	○								
④		○	○	○								
⑤		○	○	○								
繰り返し習熟 形成的評価												
(6) 医療管理・地域医療 (①～③は行動目標)												
①	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
②	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
③			○	○	○	○	○	○	○			
繰り返し習熟 形成的評価												

地域医療短期研修プログラム

前半	本院		協力型臨床研修施設				本院					
後半	本院							協力型臨床研修施設		本院		
基本習得コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 救急医療 (①～⑥は行動目標)												
①			○	○	○	○	○	○				
②			○	○	○	○	○	○				
③			○	○	○	○	○	○				
④			○	○	○	○	○	○				
⑤			○	○	○	○	○	○				
⑥			○	○	○	○	○	○				
										繰り返し習得 形成的評価		
(2) 医療安全・感染予防 (①～⑧は行動目標)												
①		○	○	○	○	○	○	○	○			
②		○	○	○	○	○	○	○	○			
③		○	○	○	○	○	○	○	○			
④		○	○	○	○	○	○	○	○			
⑤		○	○	○	○	○	○	○	○			
⑥		○	○	○	○	○	○	○	○			
⑦					○	○	○	○	○			
⑧					○	○	○	○	○			
										繰り返し習得 形成的評価		
(3) 経過評価管理 (①～③は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
										繰り返し習得 形成的評価		
(4) 予防・治療基本技術 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
										繰り返し習得 形成的評価		
(5) 医療管理 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
										繰り返し習得 形成的評価		
(6) 地域医療 (①～④は行動目標)												
①					○	○	○	○				
②					○	○	○	○				
③					○	○	○	○				
④					○	○	○	○				
										繰り返し習得 形成的評価		

3. 地域医療長期研修プログラム（Cプログラム）

臨床研修責任者等

研修プログラム責任者 清野晃孝

研修プログラムの特色

協力型臨床研修施設において、高頻度疾患を長期的に多く経験し、地域医療を実践する。

大学病院では、特殊症例や高度医療への対応能力を養い、臨床教育セミナー、症例報告、研修協力施設での地域医療を通して幅広い研修を行う。

研修歯科医募集人数

5名

臨床研修の目標

全プログラム共通事項参照

募集及び採用の方法

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の処遇に関する事項

全プログラム共通事項参照

研修歯科医の指導体制

全プログラム共通事項参照

研修管理委員会の名称

全プログラム共通事項参照

研修施設の概要

管理型臨床研修施設

施設名	奥羽大学歯学部附属病院
所在地	福島県郡山市富田町字三角堂 31-1
臨床研修施設長	杉田俊博
研修管理委員会委員長	山森徹雄
事務部門の責任者	中葉利男

協力型臨床研修施設参照

研修の到達目標

参照

研修期間割り

4月～6月	本院
7月～2月	協力型臨床研修施設
3月	本院
備考	福島県立矢吹病院、福島県太陽の国病院、富士病院、磐梯町医療センター、生愛会中央医療クリニック、生愛会ナーシングケアセンター及びその他の研修協力施設において、輪番制で研修（通年で1か月以内）を予定

地域医療長期研修プログラム

研修施設	本院				協力型臨床研修施設								本院
基本習熟コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 医療面接 (①～⑨は行動目標)													
①	○	○	○	○									
②	○	○	○	○									
③	○	○	○	○									
④	○	○	○	○									
⑤	○	○	○	○									
⑥	○	○	○	○									
⑦	○	○	○	○									
⑧	○	○	○	○									
⑨	○	○	○	○									
繰り返し習熟 形成的評価													
(2) 総合診療計画 (①～⑦は行動目標)													
①	○	○	○	○									
②	○	○	○	○									
③	○	○	○	○									
④	○	○	○	○									
⑤	○	○	○	○									
⑥	○	○	○	○									
⑦	○	○	○	○									
繰り返し習熟 形成的評価													
(3) 予防・治療基本技術 (①～④は行動目標)													
①		○	○	○									
②		○	○	○									
③		○	○	○									
④		○	○	○									
繰り返し習熟 形成的評価													
(4) 応急処置 (①～③は行動目標)													
①		○	○	○									
②		○	○	○									
③		○	○	○									
繰り返し習熟 形成的評価													
(5) 高頻度治療 (①～⑤は行動目標)													
①		○	○	○									
②		○	○	○									
③		○	○	○									
④		○	○	○									
⑤		○	○	○									
繰り返し習熟 形成的評価													
(6) 医療管理・地域医療 (①～③は行動目標)													
①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
③			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
繰り返し習熟 形成的評価													

地域医療長期研修プログラム

研修施設	本院				協力型臨床研修施設								本院
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基本習得コース													
(1) 救急医療 (①～⑥は行動目標)													
①			○	○	○	○	○	○					繰り返し習得 形成的評価
②			○	○	○	○	○	○					
③			○	○	○	○	○	○					
④			○	○	○	○	○	○					
⑤			○	○	○	○	○	○					
⑥			○	○	○	○	○	○					
(2) 医療安全・感染予防 (①～⑧は行動目標)													
①		○	○	○	○	○	○	○	○				繰り返し習得 形成的評価
②		○	○	○	○	○	○	○	○				
③		○	○	○	○	○	○	○	○				
④		○	○	○	○	○	○	○	○				
⑤		○	○	○	○	○	○	○	○				
⑥		○	○	○	○	○	○	○	○				
⑦					○	○	○	○	○				
⑧					○	○	○	○	○				
(3) 経過評価管理 (①～③は行動目標)													
①						○	○	○	○				繰り返し習得 形成的評価
②						○	○	○	○				
③						○	○	○	○				
(4) 予防・治療基本技術 (①～④は行動目標)													
①						○	○	○	○				繰り返し習得 形成的評価
②						○	○	○	○				
③						○	○	○	○				
④						○	○	○	○				
(5) 医療管理 (①～④は行動目標)													
①						○	○	○	○				繰り返し習得 形成的評価
②						○	○	○	○				
③						○	○	○	○				
④						○	○	○	○				
(6) 地域医療 (①～④は行動目標)													
①						○	○	○	○				繰り返し習得 形成的評価
②						○	○	○	○				
③						○	○	○	○				
④						○	○	○	○				

4. 全プログラム共通事項

臨床研修の目標

奥羽大学歯学部附属病院歯科医師臨床研修プログラムでは、生涯研修の第一歩として、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力（知識、態度及び技能）を身に付けることを目標とする。

募集及び採用の方法

臨床研修プログラムを公開し、全国から公募する。説明会、受付開始日、選考試験の詳細は、ホームページで公開する。

マッチング参加者を対象に選考試験を行う（書類審査、面接試験）。

最終的にマッチング実施機関の決定により採否が決定される。ただし、状況により再募集を行う場合がある。

研修歯科医の処遇に関する事項（2019年4月1日現在）

身分	研修歯科医
給与	月額 6,800 円、土曜日 3,400 円
勤務時間	月～金曜日 8:45～17:45、土曜日 8:45～12:15
時間外勤務及び当直	基本的になし
休日	日曜日、祝日、年末年始、特別休業、夏季休業
休暇	有給休暇 11 日間
社会保険	適用あり（日本私立学校振興・共済事業団に加入）
公的年金保険	適用あり（共済年金に加入）
労災保険	適用あり
雇用保険	適用あり
宿舎	なし
病院内の室	臨床研修室
歯科医師賠償責任保険	病院施設で加入している。個人においては任意加入を勧める。
健康診断	年 1 回
外部の研修活動	可能（病院長の許可が必要）、ただし費用は自己負担

※ BCプログラムは在籍型出向方式で実施するため、協力型臨床研修施設での処遇（各種手当、就業時間、宿泊施設等）は、基本的に奥羽大学歯学部附属病院に準じるが、当該医院、病院の規程に従う。

研修歯科医の指導体制

研修歯科医は附属病院に所属する。協力型臨床研修施設には在籍型出向の方式をとる。研修指導には附属病院で定められた指導歯科医（主任指導歯科医、主幹指導歯科医）及び協力型臨床研修施設の指導歯科医が当たる。研修管理委員会及び臨床研修責任者が連携して指導管理を行う。

研修管理委員会の名称

奥羽大学歯学部附属病院研修管理委員会

研修の到達目標

1. 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(1)医療面接			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) ：平均3点以上 総合評価 (5段階評価) ：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。				
行動目標				
①コミュニケーションスキルを実践する。	1)初診時の問診・診察 2)治療計画の立案とインフォームド・コンセント	9 症例		
②病歴（主訴・現病歴・既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。				
③病歴を正確に記録する。				
④患者の心理・社会背景に配慮する。				
⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する。				
⑥患者の自己決定を尊重する。 (インフォームドコンセントの構築)				
⑦患者のプライバシーを守る。				
⑧患者の心身における QOL (Quality of Life) に配慮する。				
⑨患者教育と治療への動機付けを行う。				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(2)総合診療計画			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度 (評価尺度) ：平均3点以上 総合評価 (5段階評価) ：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。				
行動目標				
①適切で十分な医療情報を収集する。	1)検査 2)単純撮影歯科エックス線撮影 3)パノラマ断層撮影 4)その他の特殊撮影 5)治療計画の立案とインフォームド・コンセント	3 症例		
②基本的な診察・検査を実践する。				
③基本的な診察・検査の所見を判断する。				
④得られた情報から診断する。				
⑤適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。				
⑥十分な説明による患者の自己決定を確認する。				
⑦一口腔単位の治療計画を作成する。				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(3) 予防・治療基本技術			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	<p>行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上</p> <p>総合評価 (5段階評価) : 3点以上</p> <p>必修ケース到達度: 100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目: 未履修の項目がない</p>
一般目標				
歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本的技術を身に付ける。				
行動目標				
①基本的な予防法の手技を実施する。	1) 予防填塞	4 症例		
②基本的な治療法の手技を実施する。	2) フッ素			
③医療記録を適切に作成する。	3) 成形充填			
④医療記録を適切に管理する。	4) 断髄			
	5) 拔牙			
	6) ワイヤー			
	7) TBI			
	8) インフォームド・コンセント			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(4) 応急処置			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	<p>行動目標の達成度 (評価尺度) : 平均3点以上</p> <p>総合評価 (5段階評価) : 3点以上</p> <p>必修ケース到達度: 100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目: 未履修の項目がない</p>
一般目標				
一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して必要な臨床能力及び対処法を身に付ける。				
行動目標				
①疼痛に対する基本的な治療を実践する。	1) 断髄	23 症例		
②歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的治療を実践する。	2) 拔牙			
③修復物、補綴装置等の脱離及び不適合に対する基本的治療法を実践する。	3) 鎮静・仮封			
	4) 直接覆髄			
	5) 抜髄			
	6) 感染根管治療			
	7) 義歯修理			
	8) 義歯調整			
	9) リライニング, リベース			
	10) 伝達麻酔			
	11) 拔牙			
	12) 外来手術			
	13) 全身麻酔・鎮静・ モニター管理			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(5)高頻度治療			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	<p>行動目標の達成度 (評価尺度) ：平均3点以上</p> <p>総合評価 (5段階評価) ：3点以上</p> <p>必修ケース到達度：100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目：未履修の項目がない</p>
一般目標				
一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。				
行動目標				
①齲蝕の基本的な治療を実践する。	1) 予防充填 2) 成形充填	45 症例		
②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。	3) 断髄 4) 抜歯			
③歯周疾患の基本的な治療を実践する。	5) 硬組織診 6) 成修			
④抜歯の基本的な治療を実践する。	7) In 8) EPT			
⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。	9) 鎮静・仮封 10) 抜髄 11) 感染根管治療 12) 歯周検査 13) 歯周縁上管理 14) 歯周縁下管理 15) インテナンス 16) 支台築造 17) FMC 18) 前装 MC 19) Br 20) PD 21) CD 22) 伝達麻酔 23) 抜歯 24) 外来手術			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(6)医療管理・地域医療			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	<p>行動目標の達成度 (評価尺度) ：平均3点以上</p> <p>総合評価 (5段階評価) ：3点以上</p> <p>必修ケース到達度：100%以上</p> <p>各系の必須ケース項目：未履修の項目がない</p>
一般目標				
歯科医師の社会的役割を果たすために必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。				
行動目標				
①保険診療を实践する。	1) 初診時の問診・診察	10 症例		
②チーム医療を实践する。	2) 検査			
③地域医療に参画する。	3) 単純撮影歯科エックス線撮影			
	4) パノラマ断層撮影 5) その他の特殊撮影 6) 治療計画の立案とインフォームド・コンセント 7) 診療情報提供書等 8) 予防填塞 9) フッ素 10) 成形充填 11) 断髄 12) 抜歯 13) 結索線除去 14) ワイヤー 15) TBI 16) インフォームド・コンセント 17) 硬組織診 18) 成修 19) In 20) EPT 21) 鎮静・仮封 22) 直接覆髄 23) 抜髄 24) 感染根管治療 25) 根管充填 26) 歯周検査 27) 歯周縁上管理 28) 歯周縁下管理 29) メインテナンス 30) 支台築造 31) FMC 32) 前装 MC 33) Br 34) PD 35) CD 36) 義歯修理 37) 義歯調整 38) リライニング, リベース 39) 伝達麻酔 40) 抜歯 41) 外来手術 42) 全身麻酔・鎮静・モニター管理 43) 訪問診療 44) 摂食嚥下・リハビリテーション			

2. 歯科医師臨床研修「基本習得コース」

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(1) 救急処置			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
安全な歯科診療を行うために必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。				
行動目標				
①バイタルサインを観察し、異常を評価する。	1) 初診時の問診・診察	1 症例		
②服用薬剤の歯科診療に関する相互作用を説明する。	2) 治療計画の立案とインフォームド・コンセント			
③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。	3) 診療情報提供書等			
④歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。	4) 全身麻酔・鎮静・モニター管理			
⑤一次救命処置を実践する。				
⑥二次救命処置の対処法を説明する。				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(2) 医療安全・感染予防			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
円滑な歯科診療を実施するために必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。				
行動目標				
①医療安全対策を説明する。	1) 初診時の問診・診察	1 症例		
②アクシデント及びインシデントを説明する。	2) 治療計画の立案とインフォームド・コンセント			
③医療過誤について説明する。	3) メンテナンス			
④病院感染対策(Standard Precautionを含む)を説明する。	4) 訪問診療			
⑤院内感染対策を実践する。				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	修了判定の評価基準
(3) 経過評価管理			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。				
行動目標				
①リコールシステムの重要性を説明する。	1) 診療情報提供書等	1 症例		
②治療の結果を評価する。	2) メンテナンス			
③予後を推測する。	3) 義歯修理 4) 義歯調整 5) リライニング, リベース 6) 訪問診療			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(4) 予防・治療技術			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
生涯研修のために専門的知識及び高度先進的技術を理解する。				
行動目標				
①専門的な分野の情報を収集する。	1) 予防填塞	2 症例		
②専門的な分野を体験する。	2) フッ素			
③POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。	3) 成形充填			
④EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。	4) 断髄			
	5) 抜歯			
	6) ワイヤー			
	7) TBI			
	8) インフォームド・コンセント			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(5) 医療管理			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。				
行動目標				
①歯科医療機関の経営管理を説明する。	1) 単純撮影歯科エックス線撮影	1 症例		
②必要に応じた医療情報の収集を行う。	2) パノラマ断層撮影			
③適切な放射線管理を実践する。	3) その他の特殊撮影			
④医療廃棄物を適切に処理する。	4) 治療計画の立案とインフォームド・コンセント			

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導體制	修了判定の評価基準
(6) 地域医療			指導歯科医が研修歯科医に患者を配当し、指導歯科医の指導のもと治療を行う患者配当型と、研修歯科医の進捗状況を把握し、不足している症例を配当する症例配当型を併用する。	行動目標の達成度(評価尺度)：平均3点以上 総合評価(5段階評価)：3点以上 必修ケース到達度：100%以上 各系の必須ケース項目：未履修の項目がない
一般目標				
適切な歯科診療を実践するために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。				
行動目標				
①地域歯科保健活動を説明する。	1) 訪問診療	2 症例		
②歯科訪問診療を説明する。				
③歯科訪問診療を体験する。				
④医療連携を説明する。				